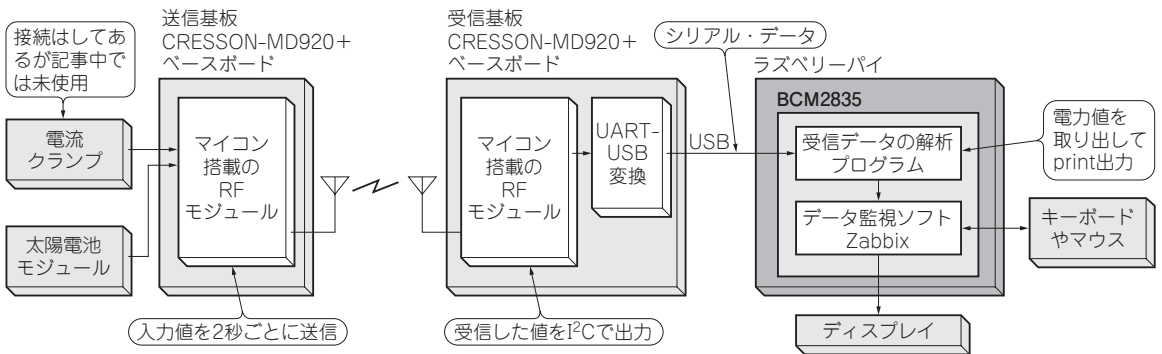
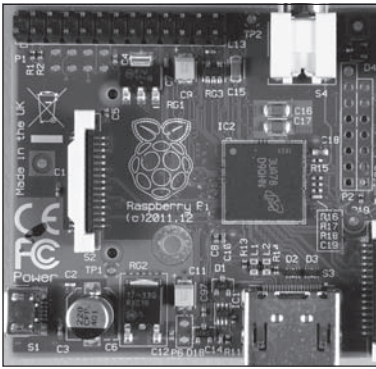


無駄遣いが一目で!

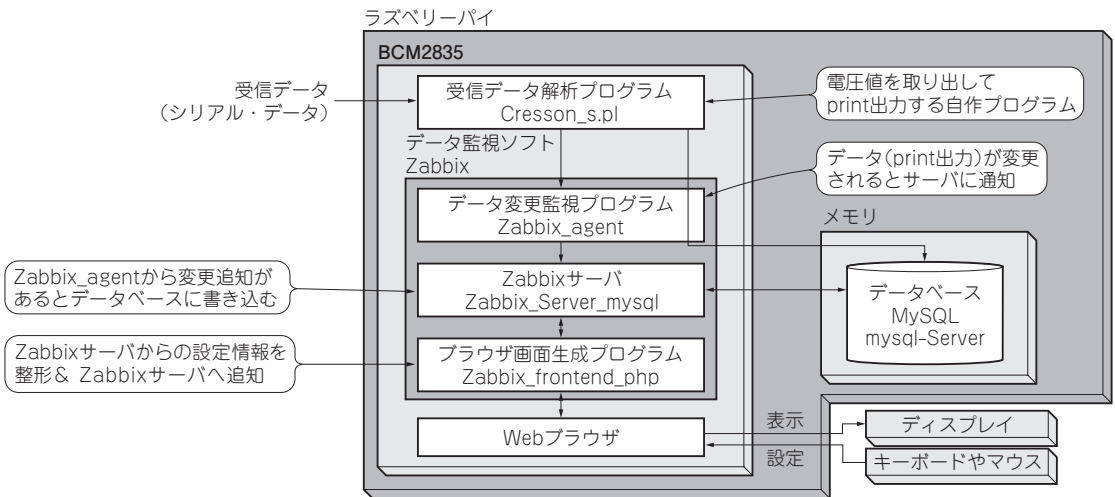
第8章 データベース管理やネットワーク管理の本格ソフトを動かしてログ解析や警告出し

家中の電力をブラウザで集中管理! 920 MHz スマート・メータの試作

我喜屋 良太 Ryota Gakiya



(a) 全体の動作



(b) ソフトウェアの動作

図1 データ監視用のアプリケーション・ソフトウェアをラズベリーパイで動かして太陽電池パネルの発電量をモニタする

本章では、ネットワークの異常を監視してくれる本格ソフトを使って、離れた地点の電力使用状況を実線でモニタできる図1のスマート・メータ装置を作ります。ネットワーク監視ソフトウェアはパソコンやサーバ・マシンで使われるZabbixを利用します。

▶ここが700 MHzパワー

Zabbixをデータベース管理ソフトと組み合わせると、ネットワーク内やコンピュータ内のデータ入出力

の状態を監視できます。主な操作はクリックだけで、プログラムをあまり書かずに利用できますが、パソコン並みの処理能力が必要です。PIC程度のワンチップ・マイコンではCPU処理速度やメモリ容量が不足し、高性能なOSが使えないためこのソフトを動かせません。そこで、CPUが700 MHz、512 MバイトRAMを搭載し、Linux OSが使えるラズベリーパイの出番です。
(編集部)